

令和2年度

事業報告書

江別市社会福祉協議会（以下「当協議会」）では、平成27年度に策定した第3期地域福祉実践計画（平成27～令和元年度）の5カ年の進捗状況の成果・課題を検証し、培ってきた地域福祉の基盤を継承・発展させ、さらにステップアップした具体的な活動方針・行動計画である「第4期地域福祉実践計画（令和2～6年度）」を策定しました。

令和2年度は、計画の1年目として、「暮らしの安心を支える地域福祉」の実現を目指し、自治会・福祉団体などと協議し、身近な地域での生活支援やボランティア活動など様々な福祉課題に対応する事業活動に取り組んでまいりました。なかでも、新型コロナウイルスの感染拡大による経済不況によって、生活困窮世帯を緊急的に支援する必要性から、市民への緊急小口資金・総合支援資金の特例貸付や行政と連携して住居確保給付金の申請窓口として相談支援を実施しました。一方、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため様々な会議・事業が中止となりました。

以下、令和2年度事業の実施結果について報告します。

目次

基本計画1	地域福祉に関する情報提供や包括的な相談体制による支援	1
基本計画2	ボランティア活動で進める福祉の環境づくり	6
基本計画3	市民参加で進める地域での生活支援や交流活動の促進	8
基本計画4	体験学習、研修による福祉意識の醸成	11
基本計画5	自立した生活を支援する福祉サービスの提供	12
基本計画6	地域に信頼される社協運営のための組織づくり	16
★	会務の運営、基本計画以外の主な活動	22

基本計画 1 地域福祉に関する情報提供や包括的な相談体制による支援

市民が福祉サービスを利用しやすくするための情報提供と生活全般にわたる困りごとや悩みごとに対応できる相談支援体制の整備に努めました。

(1) 広報活動による福祉情報の提供

① 社協だより「幸せな社会」の発行

身近な地域の福祉情報を掲載した広報誌「幸せな社会」を年4回発行(発行1回につき約42,000部)し、自治会の協力を得て市内全自治会員に配布するとともに、ホームページ掲載、公共施設への配置及び関係団体などへ送付し、福祉情報を発信しました。

また、表紙など一部カラー印刷や写真を活用し、市民にわかりやすい誌面づくりに努めるとともに、拡大版を作成し公共施設などへの設置やボランティアセンター登録団体の点字ろくの会の協力を得て、誌面を点字化し、視覚に障がいのある方へ情報提供しました。

② ホームページの運営

当協議会の運営・事業内容やタイムリーな福祉・ボランティア情報の掲載と更新に努めました。

③ 社協事業活動の説明

市民後見人養成講座受講者に対し「社協紹介パンフレット」を活用し、事業内容などについて説明し、理解が深まるよう努めました。そのほか、江別南地区民生委員児童委員協議会の例会に出向き、愛のふれあい交流事業の説明を行いました。

また、「2020年度版社協要覧」を作成し、福祉団体・施設などへ配布し、PRに努めました。

(2) 福祉サービスの適正化、苦情対応

当協議会が提供する福祉サービスに寄せられる苦情・意見などについて、電話での対応のほか現地へ出向くなど適切な対応に努めました。

【具体例】・給食サービスの遅配等に関すること

・除排雪に関すること(作業の仕方や時間など)

(3) 生活課題に対応した総合的な相談支援

① 生活困窮者自立支援事業の実施(市受託事業)

くらしサポートセンターえべつ(以下「くらしサポ」)では、対象者像に合わせた就労支援と役割を創出する活動の充実に注力するとともに、関係機関への事業説明や、ブログでの情報発信も含め、事業周知活動にも努めました。

【相談支援実績】 新規相談件数 678件 支援延べ回数 4,066回

プラン作成件数 74件

【支援調整会議】 市所管課(管理課)担当職員、市保護課職員、就労準備支援事業所しごとサポートセンターコクリ(以下「コクリ」)職員、くらしサポ相談支援員により、自立に向けたプランの確認や、事業の進め方、相談内容の対応などについて協議しました。／開催回数:48回

【江別市生活困窮者自立支援ネットワーク会議】生活困窮者が抱える多様で複合的な問題について、関係機関などが連携し情報共有を行うとともに、支援に必要なネットワークを構築するために開催しました。また、参加依頼を教育・福祉・警察・法律・NPO・企業など多様な機関へ行う事で、分野横断的なネットワークの構築を図りました。／開催回数：1回（13機関26名参加）

【就労支援】コクリやハローワークなど就労支援機関との連携はもとより、ハローワークでの求職が困難な方々（背景に病気・障がい・社会経験の乏しさなど）への支援の充実に向けて取り組みました。

▷就労体験先等の開拓に向けて 企業など訪問数 2カ所

▷無料職業紹介事業：求人登録数 1件 求職登録者数 0人 就労決定者数 0人

▷江別市版中間的就労事業の実施：雇用契約を伴わない就労の形として、市内企業2社と協定を結びプログラム化。／延べ参加人数 57名 作業料 50,000円

* **中間的就労**：一般企業などですぐに働くことが難しい方を対象に、訓練として支援付きの就労の場（軽作業など）を提供する事業。事業者との雇用契約は無いものの、参加者に一定の作業料を支払う。

【事業周知・説明】 ブログや社協だより「幸せな社会」、市広報誌での情報発信などの周知活動を実施しました。また、福祉団体などに対し事業説明を行いました。／説明カ所数 2カ所

【居場所「シエスタ」の開催】 NPO法人レターポストフレンド相談ネットワークと協働し、ひきこもり当事者とその家族が気兼ねなく参加できる居場所づくりを模索しました。また、市内各領域の支援機関へ参画を要請することにより、多機関協働で開催することができました。／開催回数：4回 延べ参加人数 105名

【ゲーム交流会の開催】 居場所シエスタ全日程終了後、引き続き参加者が気軽に利用できる居場所・交流の場として開催しました。／開催回数：2回 延べ参加人数 14名

【家計支援実績】 家計に関する助言や、滞納解消及び債務整理に関する支援、貸し付けの斡旋など、相談者自ら家計改善に取り組めるよう支援しました。／実介入件数：新規111件 延べ311件 プラン作成件数：23件

【住居確保給付金】 離職や休業等に伴う収入の減少により、住居を失うおそれが生じている方々への家賃相当額支給の相談窓口業務を行いました。

▷実相談件数 164件 延相談件数 311件 支給決定件数 40件

② 権利擁護の体制整備と相談支援

ア) 日常生活自立支援事業の実施(道社協受託事業)

北海道社会福祉協議会(以下「道社協」)から受託して行っている当事業を円滑に実施するため指揮監督者、日常生活支援専門員(いずれも職員兼務)及び生活支援員を配置し、福祉サービスの利用や生活費管理などに不安を抱えている方々を対象に、その支援や重要な書類の預かりなどを行い、地域で安心して生活できるようにサポートしました。

【契約件数】 23件(新規5件・前年度比1件減)

【生活支援員登録者数】 31人(新規6人・前年度比6人増)

イ) 成年後見実施機関の運営及び法人後見事業の実施(市受託事業など)

江別市成年後見支援センターでは、成年後見制度の相談支援及び広報用パンフレットの作成や地域向け講演会開催などにより制度普及・利用促進に努めるとともに、地域で後見人等を担える人材育成のため市民後見人養成講座の実施、並びに市民後見人候補者の資質向上を図るためフォローアップ研修、市民後見人個人受任者の活動支援を行いました。

また、当協議会では成年被後見人等の権利を擁護するために法人後見業務を実施しました。

***市民後見人:** 専門職(弁護士、司法書士、社会福祉士など)及び親族の成年後見人などではなく、地方自治体が行う後見人養成講座などにより一定の知識・技術・態度を身に付け、実際に家庭裁判所から選任されて後見業務などの法律行為を行う一般市民の方。

【相談支援実績など】 新規相談件数 112件 延べ相談件数 731件

延べ相談支援回数 728回 申立支援件数 15件 後見開始審判の市長申立要請 1件
受任調整会議 4回

【法人後見】 年度末受任15件(令和2年度:受任5件)

【市民後見人個人受任】 年度末受任4件(法人後見支援員→市民後見人個人受任 令和2年度:3件)

【市民後見人フォローアップ研修】

- ▷第1回/令和2年6月19日(金)/「よくわかる訪問記録の書き方」 講師:丸山正三(藤女子大学人間生活学科)、「市民後見人個人受任について」 実践報告:松澤文夫(市民後見人)
- ▷第2回/令和2年10月20日(火)/「地域の後見制度の共助と自助を考える」 講師:遠藤英嗣(弁護士)、「成年後見活動の留意事項」 講師:東 啓二(東京大学特任専門職員)

【普及啓発】

- ▷社協だより「幸せな社会」やホームページでの情報発信
- ▷高齢者施設等34施設へポスター配布
- ▷市の協力のもとセンターチラシを自治会へ4000部配布
- ▷出前講座の実施/野幌若葉自治会、さいわい成年後見センター、高齢者クラブ連合会、妙慈園泉町ホーム
- ▷地域向け講演会の開催/令和2年11月8日(日)江別市民会館 「落語で学ぼう! 成年後見制度」 65人参加 行政書士(社会人落語家):生島清身(天神亭きよ美)

【関係機関との会議等】 後見実施機関運営会議(11回)、江別市成年後見実施機関運営協議会(2回)、成年後見制度利用促進体制整備研修、家事関係機関と家庭裁判所との連絡協議会、暮らしと成年後見について考える研修会(2回)、包括支援センターとの意見交換会

【市民後見人養成講座】

- ▷座学6日間、地域実習1日、家庭裁判所見学半日実施。
- ▷受講修了者 26名 後見支援員登録 24名

【登録管理】

- ▷市民後見人及び後見支援員の登録意向確認を実施
- ▷年度末登録者 市民後見人候補者 47人 後見支援員 45人

③ 生活安定のための貸付金を活用した相談支援

生活困窮・障がい者世帯に対し、使途目的に応じた資金の貸し付けを円滑に実施するため生活資金相談員を配置し、業務の推進に努めました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入の減少や失業などで生活費を必要とする世帯への緊急小口資金・総合支援資金の各特例貸付の相談・申請窓口となるとともに、相談者の状況により他制度の必要情報を提供しました。

【相談者件数】

区 分	2年度	元年度	増 減
生活福祉資金	延 503 件	延 161 件	延 342 件
福祉金庫	延 100 件	延 157 件	△延 57 件
電 話	延 2,116 件	延 192 件	延 1,924 件
計	延 2,719 件	延 510 件	延 2,209 件

ア) 生活福祉資金の貸付(道社協受託事業)

道社協の「生活福祉資金貸付事業」の取り扱い窓口として、各種資金を貸し付けました。

【貸付実績】 ※各欄上段が貸付件数・下段が貸付金額

区 分	2年度	元年度	増 減
福祉資金	0 件	1 件	△1 件
	0 円	293,000 円	△293,000 円
教育支援資金	6 件	16 件	△10 件
	11,498,000 円	19,439,000 円	△7,941,000 円
緊急小口資金	843 件	27 件	816 件
	158,029,000 円	3,770,000 円	154,259,000 円
総合支援資金	685 件	0 件	685 件
	341,581,000 円	0 円	341,581,000 円
計	1,534 件	44 件	1,490 件
	511,080,000 円	23,502,000 円	487,578,000 円

イ) 特別生活資金の貸付(道社協受託事業)

道社協の「特別生活資金(冬期生活資金)貸付事業」の取り扱い窓口業務を実施しました。

【貸付実績】

区 分	2年度	元年度	増 減
貸付件数	0件	1 件	△1 件
貸付金額	0円	50,000 円	△50,000 円

ウ) 福祉金庫の貸付

当協議会の独自事業として、一時的に生活費が必要となった世帯に4万円を限度として、応急的な資金を貸し付けました。

【貸付実績】

区 分	2年度	元年度	増 減
貸付件数	76 件	118 件	△42 件
貸付金額	2,810,000 円	4,520,000 円	△1,710,000 円

④ ボランティアによる日常生活上の悩みごとに関する相談支援

相談活動を主とするボランティアセンター登録3団体の協力を得て、火・金曜日の悩みごとテレホン相談及び木曜日の認知症の介護相談を実施しました。

【協力団体】 江別家庭生活カウンセラーグループ、江別市家庭問題研究会、江別認知症の人の家族を支える会

【相談件数】 64件(前年度比33件減)

⑤ 生活支援体制整備事業の実施(市受託事業)

生活支援や介護予防の充実を図るため、各種研修会及び住民主体で行うサロンへの参加を通じ、事業推進に必要な情報収集に努めるとともに、地域住民・団体が「支え合いのまちづくり」を進めていく上での助言や、第2層生活支援コーディネーター(地域包括支援センター)との協働、関係機関などとのネットワークづくりに努めました。

また、通いの場同士のネットワーク化を目的にサロン交流会を開催し、通いの場同士の情報交換、多様な団体同士が継続的に意見交換できる関係を構築する機会となりました。

その他、通いの場情報誌の発行、訪問だよりの発行、社協広報誌にてサロンなど開催状況の掲載(シリーズ化)を通じ、市内における活動例の周知に注力しました。

【会議への参加】 第1層・2層生活支援コーディネーター会議など 11回

【研修会等への参加】 事業展開に関する情報交換研修への出席など 8回

【関係機関との情報交換・情報収集・情報提供活動】 江別市の各部署、その他関連団体との情報交換など 105回

【地域活動への参加】 地域サロン、サークル等の通いの場見学・参加など 37回

【第2層生活支援コーディネーターへの支援】 活動調整、同行など 10回

【その他】 通いの場情報誌更新版の発刊、通いの場訪問だよりの発行、通いの場立ち上げガイドの発刊、広報活動(情報誌、訪問だより配布含む)、サロン交流会の開催 など

基本計画 2 ボランティア活動で進める福祉の環境づくり

市民がボランティア活動に積極的に参加できるよう支援し、地域福祉の担い手として活動しやすい環境づくりに努めました。

(1) ボランティアセンターの運営

① ボランティア活動の相談・登録、活動先紹介

ボランティア活動の相談受付、登録、ボランティア活動への協力依頼に対するボランティアへの情報提供及び活動希望者の調整・確保に努めました。

ア) ボランティアセンター登録団体・個人状況

区分	登録状況		増減
	2年度末	元年度末	
団体	61団体 1,453人	60団体 1,446人	1団体 7人
個人	186人	182人	4人
計	1,639人	1,628人	11人

イ) 社会福祉施設などへのボランティア協力

高齢者福祉施設や障がい児者施設などでの行事、在宅高齢者への支援及び相談活動などに協力しました。

【ボランティア協力活動実績】

活動区分	延活動人数		増減
	2年度	元年度	
高齢者施設	26人	4,308人	△4,282人
障がい者施設・団体	26人	528人	△502人
認知症高齢者	0人	1,962人	△1,962人
託児	35人	53人	△18人
在宅高齢者・障がい者支援	112人	1,062人	△950人
相談	135人	157人	△22人
その他	199人	285人	△86人
合計	533人	8,355人	△7,822人

② ボランティア活動の基盤整備

安心して活動に取り組める基盤の整備に努めました。

ア) ボランティア活動保険の加入

ボランティア活動中の万が一の事故に備え、加入の促進に努めました。

【取り扱い件数】 3,641人

(登録ボランティア:1,698人／愛のふれあい活動:894人／自己加入者 1,049人)

イ) ボランティア団体助成金の交付

ボランティアセンター登録団体の活動を支援するため助成金の交付や各団体の民間助成金の交付申請手続きを支援しました。

【団体への活動助成金】 57団体 1, 152, 000円

【民間助成金団体】

- ▷北海道地域活動振興協会ボランティア活動支援事業助成金／4団体(手作り紙芝居なかま、札幌齊藤支部門人会大麻千鳥会、朗読ボランティアグループまちの灯、江別市水上安全赤十字奉仕団)
- ▷大和証券福祉財団ボランティア活動助成／2団体(江別車いすボランティア整備、手作り紙芝居なかま)
- ▷みずほ教育福祉財団老後を豊かにするボランティア活動資金／2団体(江別更生保護女性会、長生民謡会)

③ ボランティア団体連絡会の運営

登録ボランティア団体で構成される「江別市ボランティア団体連絡会」を運営し、情報交換と交流の促進及び当協議会と協働してボランティア活動を展開しました。

各団体の活動内容はホームページに掲載し、市民にお知らせしました。

(2) ボランティアの育成・確保

① ボランティア活動者研修の開催

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

② 傾聴ボランティアの育成

当協議会と江別市ボランティア団体連絡会が協働して、悩みや寂しさを抱える高齢者の話し相手をボランティア活動で行い、「聴く」ことにより心の不安を軽減することを目的に実施しました。

ア) 養成研修

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

イ) 活動実績(再掲)

9個人に対し、延べ56人(前年度比2, 122人減)が活動しました。

基本計画 3 市民参加で進める地域での生活支援や交流活動の促進

身近な地域でのつながりや絆を深め、安心して暮らせる地域づくりの活動支援の充実に努めました。

(1) 愛のふれあい交流事業の実施

様々な機会を利用して、自治会に「地域交流の集い活動事例集」や「社協紹介パンフレット」などを活用し、当事業への取り組みを働きかけました。

① 愛のふれあい活動の実施

ボランティアグループを編成し、ひとり暮らしの高齢者などへの安否確認などの助け合い活動に取り組む自治会を支援しました。

【実施状況】

地 区	実施自治会数（自治会）			対象世帯数（世帯）			ボランティア延人数（人）		
	2年度	元年度	増減	2年度	元年度	増減	2年度	元年度	増減
江 別	15	19	△4	410	526	△116	594	857	△263
野 幌	29	33	△4	628	663	△35	1,188	1,446	△258
大 麻	28	33	△5	652	789	△137	1,094	1,538	△444
計	72	85	△13	1,690	1,978	△288	2,876	3,841	△965

② 地域交流の集い活動の実施

地域の高齢者・障がいのある方の閉じこもりを予防し、身近な住民による交流を促進するための活動に取り組む自治会を支援しました。

【実施状況】

地 区	実施自治会数（自治会）			実施事業数（回）		
	2年度	元年度	増 減	2年度	元年度	増 減
江 別	9	27	△18	27	101	△74
野 幌	17	32	△15	36	106	△70
大 麻	13	39	△26	30	124	△94
計	39	98	△59	93	331	△238

(2) 江別市共同募金委員会との協働

江別市共同募金委員会が実施する赤い羽根共同募金及び歳末たすけあい募金運動に協力するとともに、助成金の確保に努めました。

① 赤い羽根共同募金運動への協力

令和2年10月1日から展開された赤い羽根共同募金運動へ協力しました。

【募金実績】 7, 203, 197円(前年度比711, 799円減)

★当協議会への共同募金助成状況

区 分	事 業 名	助成額 (円)		
		2年度	元年度	増 減
市町村地域助成	愛のふれあい交流事業	200,000	150,000	50,000
	ボランティア団体育成	200,000	150,000	50,000
	広報誌「幸せな社会」発行	754,823	595,783	159,040
道地域助成	ワークキャンプ	110,000	110,000	0
	行事用テントの幕購入	217,780	128,520	89,260
合 計		1,482,603	1,134,303	348,300

② 歳末たすけあい運動への協力

令和2年12月1日から展開された歳末たすけあい募金運動へ協力しました。

また、令和2年12月21日(月)、寄せられた募金を活用し、民生委員・児童委員の調査により対象となった生活支援世帯へ見舞金を贈呈しました。

【募金実績】 4, 708, 711円(前年度比98, 543円減)

【歳末たすけあい募金助成】

★見舞金の贈呈状況

区 分	2年度		元年度		増 減	
	世帯数 (世帯)	見舞金額 (円)	世帯数 (世帯)	見舞金額 (円)	世帯数 (世帯)	見舞金額 (円)
生活支援 世帯	539	1,940,000	523	2,711,000	16	△771,000

★福祉事業への助成状況

助成先	2年度		元年度		増 減	
	団体数	助成金額 (円)	団体数 (団体)	助成金額 (円)	団体数 (団体)	助成金額 (円)
障がい児・ 者団体及び その家族会	1	49,000	5	216,000	△4	△167,000
地域福祉推 進団体	2	65,000	2	65,000	0	0
計	3	114,000	7	281,000	△4	△167,000

★当協議会への歳末たすけあい募金助成状況

事業名	助成額（円）		
	2年度	元年度	増減
ハーフデイボランティアスクール	0	100,000	△100,000
除雪派遣サービス	691,427	920,000	△228,573
計	691,427	1,020,000	△328,573

(3) 江別ふれあい福祉の広場の開催

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(4) 企業・団体の地域貢献活動への支援

自治会、施設・団体、企業が行う社会貢献活動や地域行事などへの協力要請に対し、活動先の紹介、連絡調整及び活動備品の貸し出しなどの支援に努めました。

▷活動備品の貸出

- ・テント 1自治会 1施設 2団体
- ・机 1施設 2団体
- ・椅子 1団体

▷社会貢献活動への協力

- ・株式会社北翔(子供用マスク寄贈)
- ・一般社団法人江別青年会議所(マスク寄贈)
- ・株式会社ゆい(児童施設へ光触媒コーティング施工)
- ・北海道コカ・コーラボトリング株式会社(福祉施設への清涼飲料水寄贈)
- ・株式会社カーブスジャパンフードドライブ事務局(緊急支援用食料寄贈)

基本計画 4 体験学習、研修による福祉意識の醸成

福祉施設などと協働し、青少年はじめ市民に体験の場や研修の機会を提供し、福祉意識の醸成に努めました。

(1) 地域福祉活動者研修会の開催

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(2) 福祉施設での体験学習

① ワークキャンプ(福祉施設介護体験学習)の開催

新型コロナウイルス感染対策のため、高校生を対象としたオンライン講座「おうちで学ぶ認知症」を実施しました。

【開催内容】

開催期間	参加者数	場 所
令和2年 8月 4日(火) 11日(火) (同じプログラムで2日間の開催)	7人	オンライン
令和3年 1月 8日(金)	2人	オンライン
計	9人	(前年度比参加者数△10人)

② ハーフデイボランティアスクールの開催

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(3) 総合的な学習の時間や学校・大学の福祉活動への協力

総合的な学習の時間に伴う体験用具の貸し出しやボランティア派遣を通して協力しました。

- ▷ 体験用具の貸出
 - ・疑似体験セット 小学校2校
 - ・車椅子 小学校1校
- ▷ ボランティア派遣 小学校1校

(4) いきいきシニアスクールの開催

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

基本計画 5 自立した生活を支援する福祉サービスの提供

住み慣れた地域で安心して自立した生活を送れるように、各種の福祉サービスの提供に努めました。

(1) 雪処理への支援

① 福祉除雪サービスの実施(市受託事業)

高齢・重度の身体障がいなどで除雪が困難な世帯を対象に公道(車道)除雪後に残る「置き雪」の処理をロータリー車、ショベルカーを使用し実施しました。

【実施期間】 令和2年11月1日～令和3年3月31日

【利用料金】 1間口3m以内(追加料金は1間口15,000円)

種別	市からの助成金	利用者自己負担額	合計
市・道民税非課税世帯	26,030円	15,770円	基本料金 41,800円
同均等割課税世帯	20,170円	21,630円	
同均等割・所得割課税世帯	14,290円	27,510円	

【実施状況】

地区	2年度(世帯)		元年度(世帯)		増減 (A-B)
	利用世帯数 (A)	(Aの内、新規)	利用世帯数 (B)	(Bの内、新規)	
江別	290	(44)	292	(67)	△2
野幌	353	(70)	319	(68)	34
大麻	204	(33)	197	(29)	7
計	847	(147)	808	(164)	39

② 除雪派遣サービスの実施

高齢・重度身体障がいなどで除雪が困難な世帯を対象に作業協力員により玄関先から公道までの除雪を実施しました。

作業協力員確保のため、江別市シルバー人材センターのほか、札幌勤労者企業組合、障がい者就労移行支援事業所との契約に加えて、独自に作業協力員の確保も行い、利用対象全世帯にサービスを提供しました。

【実施状況】

地区	利用世帯数(世帯)		
	2年度	元年度	増減
江別	49	53	△4
野幌	38	39	△1
大麻	53	54	△1
計	140	146	△6

③ 「えべつ雪の処理情報誌」の作成

市民の様々な除排雪の要望に対応するため、除排雪作業・料金などの内容を事業者別に記載した情報誌を発行するとともに、公共施設などに配置したほか、自治会の協力を得て回覧するなど、きめの細かい情報提供を行いました。また、雪処理を行う事業者一覧を社協だより「幸せな社会」に掲載しました。

【掲載事業者数】 28事業者掲載(前年度比増減なし)

(2) 高齢者・障がい者給食サービスの実施(市受託事業)

疾病・障がいにより食事の支度が困難な高齢ひとり暮らし世帯・夫婦世帯などに夕食を届けました。また、配送時に安否確認を行い消防など関係機関と連携し、利用者の緊急時の対応を行いました。

【配食実績】

地区	利用数	ひとり暮らし世帯 (世帯)			高齢夫婦世帯 (世帯)			障がい者世帯 (世帯)			高齢者+障がい者 (世帯)			計 (世帯)		
		2年度	元年度	増減	2年度	元年度	増減	2年度	元年度	増減	2年度	元年度	増減	2年度	元年度	増減
江別	世帯数	55	74	△19	4	8	△4	2	4	△2	0	0	0	61	86	△25
	食数	55	74	△19	10	16	△6	2	4	△2	0	0	0	67	94	△27
野幌	世帯数	58	54	4	14	10	4	3	2	1	2	1	1	77	67	10
	食数	58	54	4	30	22	8	3	2	1	5	3	2	96	81	15
大麻	世帯数	50	52	△2	6	7	△1	6	6	0	0	0	0	62	65	△3
	食数	50	52	△2	12	14	△2	6	6	0	0	0	0	68	72	△4
合計	世帯数	163	180	△17	24	25	△1	11	12	△1	2	1	1	200	218	△18
	食数	163	180	△17	52	52	0	11	12	△1	5	3	2	231	247	△16

【年間配食実績】 62,641 食(前年度比 5,763 食減)

(3) 障がい児者移動支援事業の実施

江別市が福祉サービスの利用を決定した身体・知的障がい児者の社会生活上、必要な外出・余暇活動・社会参加などの介助のために、ガイドヘルパーを派遣しました。

【実施状況】 ガイドヘルパー数 15人 ガイドヘルプ利用者数 15人

【利用実績】

利用内容	件数(件)		
	2年度	元年度	増減
健康・体力づくりや余暇活動などのための外出	173	167	6
医療機関への相談又は受診	100	142	△42
公的施策などによって開催される研修・講座への参加	0	0	0
一般市民向けの各種行事への参加	0	28	△28
福祉活動を目的とした団体行事などへの出席	44	234	△190
奉仕活動のための外出	0	1	△1
児童の外出の手助け	0	0	0
学校行事への参加	0	0	0
その他の外出	201	347	△146
計	518	919	△401

(4) 福祉機器の貸与

① 福祉機器の貸与

疾病・障がいがある方の日常生活を支援するため、福祉機器を貸与しました。

【貸与状況】

福祉機器	保有台数(台)	貸与件数(延貸与月数)(件)		
		2年度	元年度	増減
車椅子	196	959	1,068	△109
介護用手動ベッド	23	95	118	△23
介護用電動ベッド	67	504	536	△32
歩行器	32	169	159	10
計	318	1,727	1,881	△154

② 福祉ベルの設置

江別市緊急通報システム設置待機者を対象に、身体急変時の緊急連絡用として福祉ベルを設置しました。

【設置状況】

区 分	江別地区（件）	野幌地区（件）	大麻地区（件）	合 計（件）
元年度までの設置数	2	7	3	12
2年度設置数	0	0	0	0
2年度返却数	0	0	0	0
計	2	7	3	12

(5) 北光保育園・野幌季節保育所の運営

農村地域の児童の健全育成と子育て支援の一環として開設している北光保育園及び野幌季節保育所を運営しました。

【保育児童数】

区分 保育所名	2年度年齢別保育児童数（人）					元年度 （人）	増 減 （人）
	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合 計		
北光保育園	9	4	5	6	24	27	△3
野幌季節保育所	4	0	3	1	8	5	3
計	13	4	8	7	32	32	0

基本計画 6 地域に信頼される社協運営のための組織づくり

地域福祉推進の中核的な役割を發揮できる組織づくり、市民から信頼される運営体制の確立に努めました。

(1) 組織体制の整備

当協議会の運営、事業への市民・福祉団体の参加の促進や行政との連携に努めました。

① 行政との連携

特に、下記内容について、市と連携・協議のうえ、実施しました。

- ▷からサポ相談支援員が毎週事業の進め方や相談内容などについて支援調整会議を開催し協議【再掲】
- ▷江別市成年後見支援センターの運営、受任調整会議の開催内容、具体的な後見受任ケース及び中核機関の設置などについて協議
- ▷生活支援コーディネーター業務の進め方及び生活支援体制整備事業の実施や周知方法について協議
- ▷今後の保育所運営の在り方、保育士の処遇や確保について協議
- ▷新型コロナウイルス感染拡大防止のため、総合社会福祉センター利用者に対し、注意喚起のステッカー掲示やチェックリストの提出を求める等の対策を協議

② 部会・委員会組織の活性化

部会・委員会を開催し、当協議会の運営に市民・福祉団体の意見・考え方を積極的に反映しました。

【部会・委員会開催状況】

会議名	開催回数	開催年月日
合同(総務・地域福祉)部会	1回	令和2年 9月29日
広報編集委員会	4回	令和2年 6月 8日 令和2年 9月10日 令和2年12月10日 令和3年 3月11日
福祉金庫管理委員会	1回	令和2年 6月 9日
江別市成年後見支援センター受任調整会議	4回	令和2年 7月10日 令和2年10月14日 令和2年11月 4日 令和3年 1月15日(書面審議)

③ 役職員などの研修・資質向上

ア) 研修会への参加

役員が、社会福祉の現状や今後の動向などについて理解を深めるため参加しました。

【参加研修会】

研修会	開催日	場 所	人数
令和2年度法人役員研修	令和2年11月 6日	札幌市	4人

イ) 職員の資質向上

道社協主催研修会などに職員を派遣し、資質向上に努めました。

【主な派遣研修会】

研修会	開催日	場 所	人数
新型コロナウイルスの影響による困窮支援現場への後方支援プロジェクト緊急報告会	令和2年 8月22日	札幌市	1人
生活支援コーディネーター養成研修(基礎編)	令和2年 8月25日 ～ 26日	オンライン	1人
北星学園大学社会福祉士相談支援実習	令和2年10月 4日	オンライン	1人
母子家庭就業・自立支援センター石狩地区合同会議	令和2年10月 9日	北広島市	1人
北星学園大学社会福祉学部シンポジウム	令和2年10月11日	オンライン	1人
職業紹介責任者講習	令和2年10月15日	札幌市	1人
石狩地区第1回ボラネット協議会	令和2年10月22日	札幌市	1人
公的職業訓練(ハورتレーニング)施設見学会	令和2年10月29日	札幌市	1人
成年後見制度利用促進体制整備研修(基礎研修)	令和2年10月29日 ～ 30日	オンライン	1人
成年後見制度利用促進体制整備研修(応用研修)	令和2年11月10日 ～ 12日	オンライン	1人
全道新任社協職員研修会	令和2年11月11日 ～ 12日	札幌市	2人
自立相談支援事業従事者養成研修	令和2年12月 ～	オンデマンド	1人
就労支援員・就労準備支援事業従事者養成研修	令和3年 1月 ～	オンデマンド	1人
生活支援コーディネーター連絡会議	令和2年12月14日	オンライン	1人
北の国災害サポートチームオンライン研修	令和2年12月16日	オンライン	1人
居住・支援法人実践セミナー	令和2年12月18日	江別市	1人
生活困窮者自立支援制度におけるブロック別研修	令和3年 1月20日 ～ 21日	オンライン	1人
札幌家庭裁判所との意見交換会	令和3年 1月21日	札幌市	2人
居住・支援法人支援セミナー	令和3年 1月26日	江別市	1人
生活支援コーディネーター養成研修(応用編)	令和3年 1月28日	オンライン	1人
テーマ別研修(ひきこもり状態にある者への支援)	令和3年 2月 ～	オンデマンド	2人
地域共生社会推進研究協議会	令和3年 2月 1日	オンライン	1人

認知症体験VR研修会	令和3年 2月 3日	江別市	1人
実践型地域づくり人材育成プログラム成果報告会	令和3年 2月 3日	オンライン	1人
石狩管内生活支援コーディネーター情報交換会	令和3年 2月15日	オンライン	1人
ボランティア強化セミナー	令和3年 2月16日	オンライン	1人
石狩地区地域に理解され支持される社協づくり研修	令和3年 2月25日	オンライン	2人
全道福祉の学習推進セミナー	令和3年 2月28日	オンライン	2人
石狩地区災害ボランティア組織連絡会議	令和3年 3月12日	オンライン	1人
石狩地区「市町村社協事務局長会議」	令和3年 3月23日	オンライン	1人
ひきこもり支援機関関係職員研修会	令和3年 3月 ~	オンデマンド	2人

(2) 財源基盤の整備

当協議会の運営や福祉活動を推進するため財源基盤の整備に努めました。

① 会員会費制度の定着・促進

住民・福祉団体などとの協働を進めるうえで基本的な財源となる会員会費制度の定着・促進に努めました。

【会員会費状況】

区 分	件 数			備 考
	2年度	元年度	増 減	
第1種会員会費	36,222 世帯	38,360 世帯	△2,138 世帯	1世帯 年額 300円
第2種会員会費 (施設会費)	42施設	42施設	0施設	50人未満 5,000円 50人以上 7,000円 100人以上200人未満 10,000円
第3種会員会費 (団体会費)	89団体	91団体	△2団体	1団体 3,000円 * ボランティアセンター登録団体 は人数による
第4種会員会費 (特別会費)	696 個人・事業所	705 個人・事業所	△9 個人・事業所	1口 1,000円以上

② 社会福祉基金の積立・運用

寄付金を安全確実な方法で運用するとともに、利息1,500,000円を地域福祉事業に充当しました。

【元金積立及び運用内訳】

積立・寄付状況	金額(円)	運用内訳(2年度末)
元年度までの元金積立額 ①	134,034,997	政府保証債(年利率1.662%) 100,000,000円
2年度寄付金受入額 ②	735,111 ▷ 内訳 〔・篤志寄付 678,071〕 〔・つもり寄付 57,040〕 ▷ 寄付件数 42件	金融機関預金 34,770,108円 【内訳(ペイオフ対策による管理)】 定期預金(年利率0.01%) 10,000,000円
2年度末元金積立額 (①+②)	134,770,108	定期預金(年利率0.01%) 10,000,000円 定期預金(年利率0.01%) 10,000,000円 普通預金(年利率0.001%) 4,770,108円

③ 共同募金からの助成金の確保(P9~10 参照)

④ 一般寄付金の活用

直接、当該年度事業に充当できる制度として活用し、特に、江別市高齢者クラブ連合会女性部からの寄付金25万円で電動ベット1台を購入しました。

また、一般財団法人北海道信用金庫ひまわり財団から10万円が寄付され、在宅福祉サービス、ボランティア活動の推進に役立てました。

【寄付取扱実績】 件数 34件 寄付金額 1,052,782円

⑤ 各種事業コストの検討

令和3年における北光保育園の給食費については、保護者負担額の上昇を抑制するため、委託先事業者の切りかえを行いました。

(3) 事務事業の改善

新型コロナウイルス感染防止のため、以下のように改善しました。

【主な改善事項】

- ・生活福祉資金特例貸付の申請受付等について、面談方式から郵送による書類の受け渡し方式に変更した。
- ・福祉施設への訪問が困難なことから、ワークキャンプ(福祉施設体験学習)については、施設と参加者を繋いでオンライン形式で実施した。
- ・多人数が出席する評議員会については、書面審議に切り替えて行った。
- ・引きこもりの家族の会の集い「シエスタ」や成年後見制度普及啓発講演会等の集会においては参加者の検温や手指の消毒、適度な換気等の対策を施しながら実施した。

(4) 総合社会福祉センターの管理運営

福祉団体等が利用する地域福祉活動の拠点施設、並びに高齢者が集う交流の場として運営しました。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対応として、感染症予防対策及び市内感染状況等に応じた貸室等の利用制限の実施、センター利用者へ国が示す「新しい生活様式」を踏まえた注意喚起と「新型コロナウイルス感染拡大防止チェックリスト」の提出を求めました。

【月別利用状況】

月	利用者数（人）			月	利用者数（人）		
	2年度	元年度	増減		2年度	元年度	増減
4	1,589	4,475	△2,886	10	3,342	4,707	△1,365
5	458	4,218	△3,760	11	2,781	4,358	△1,577
6	1,728	4,447	△2,719	12	1,930	3,748	△1,818
7	2,697	3,790	△1,093	1	1,711	3,306	△1,595
8	2,265	3,475	△1,210	2	1,990	3,060	△1,070
9	3,147	4,266	△1,119	3	3,090	939	2,151
計					26,728	44,789	△18,061
累計（昭和57年度～令和2年度） 2,282,181人							

(5) 防災・災害対策の推進

令和3年3月12日（金）開催の道社協主催「石狩地区災害ボランティア組織連携会議」に職員がオンライン参加し、災害ボランティアセンターの活動事例の報告や災害時における支援団体の活動内容について研修しました。

また、令和2年10月26日（月）には、総合社会福祉センターで職員による火災消防訓練を実施しました。

(6) 地域福祉実践計画の進行管理

合同（総務・地域福祉）部会において、計画の執行状況について管理し、円滑な推進を目指すため、6基本計画・46個別実践事業について、令和元年度事業の最終評価を実施しました。

全体としては、生活困窮者自立支援事業、法人後見事業、生活福祉資金貸付事業などについては、実績増に対して円滑な対応・連絡調整に努め、支障なく安定したサービスを提供したことに高い評価を受け、その結果、基本計画では、4計画で「評価4」、個別実践事業では、46事業全てが基準点の「評価3」以上で、その内「評価4」が28事業でした。

令和元年度は全般にわたり、順調な推進状況と評価されました。

また令和元年度を以って第3期地域福祉実践計画が終了するため、5カ年にわたる計画の全体評価も実施しました。

生活課題に対応した総合的な相談支援事業や生活支援体制整備事業、傾聴ボランティア養成事業などについてはニーズを的確に捉え、着実に事業を遂行したことから、高い評価を受け、そ

の結果、基本計画では、4計画で「評価4」、個別実践事業では、48事業全てが基準点の「評価3」以上で、その内「評価4」が16事業でした。

5か年全体にわたり、順調な推進状況と評価されました。

【令和元年度基本計画評価結果】

分類	基本計画の主な内容と評価結果					
基本計画1	地域福祉に関する課題把握、情報提供や相談支援体制の整備 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> </table> [生活困窮者自立支援事業など13事業]	5	4	3	2	1
5	4	3	2	1		
基本計画2	ボランティア活動で進める福祉の環境づくり <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> </table> [ボランティア活動の基盤整備など4事業]	5	4	3	2	1
5	4	3	2	1		
基本計画3	市民参加で進める地域での生活支援や交流活動の促進 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> </table> [愛のふれあい活動など5事業]	5	4	3	2	1
5	4	3	2	1		
基本計画4	体験学習、研修による福祉意識の醸成 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> </table> [ワークキャンプの開催など4事業]	5	4	3	2	1
5	4	3	2	1		
基本計画5	自立した生活を支援する福祉サービスの提供 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> </table> [給食サービス事業など7事業]	5	4	3	2	1
5	4	3	2	1		
基本計画6	地域に信頼される社協運営のための組織づくり <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> </table> [社会福祉基金の積立・運用など13事業]	5	4	3	2	1
5	4	3	2	1		

【第3期実践計画(平成27年度～令和元年度) 5か年全体の基本計画評価結果】

分類	基本計画の主な内容と評価結果					
基本計画1	地域福祉に関する課題把握、情報提供や相談支援体制の整備 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> </table> [生活困窮者自立支援事業など13事業]	5	4	3	2	1
5	4	3	2	1		
基本計画2	ボランティア活動で進める福祉の環境づくり <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> </table> [ボランティア活動の基盤整備など5事業]	5	4	3	2	1
5	4	3	2	1		
基本計画3	市民参加で進める地域での生活支援や交流活動の促進 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> </table> [愛のふれあい活動など5事業]	5	4	3	2	1
5	4	3	2	1		
基本計画4	体験学習、研修による福祉意識の醸成 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> </table> [ワークキャンプの開催など5事業]	5	4	3	2	1
5	4	3	2	1		
基本計画5	自立した生活を支援する福祉サービスの提供 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> </table> [給食サービス事業など7事業]	5	4	3	2	1
5	4	3	2	1		
基本計画6	地域に信頼される社協運営のための組織づくり <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> </table> [社会福祉基金の積立・運用など13事業]	5	4	3	2	1
5	4	3	2	1		

★会務の運営、基本計画以外の主な活動

(1) 会務の運営

① 三役会(会長・副会長・常務理事会議) 12回

開催日		
令和2年 4月13日(月)	令和2年 8月 3日(月)	令和2年12月 7日(月)
令和2年 5月28日(木)	令和2年 9月17日(木)	令和3年 1月19日(火)
令和2年 6月23日(火)	令和2年10月26日(月)	令和3年 2月15日(月)
令和2年 7月16日(木)	令和2年11月12日(木)	令和3年 3月 8日(月)

② 理事会 4回

開催日	
令和2年 6月 9日(火)	令和2年12月16日(水)
令和2年10月 6日(火)	令和3年 3月15日(月)

③ 評議員会 書面による同意(決議) 3回

書面による同意(決議)	
令和2年 6月25日(木)	令和3年 3月24日(水)
令和2年10月19日(月)	

④ 監事監査 4回

開催日	
令和2年 5月26日(火)	令和2年12月11日(金)
令和2年 8月31日(月)	令和3年 3月 9日(火)

⑤ 評議員選任・解任委員会 1回

開催日
令和2年10月 9日(金)

(2) 社会福祉功労者顕彰

社会福祉功労者を顕彰し、感謝の意を表しました。

【被顕彰者数】表彰 28人 感謝 5人

(3) ボランティア研修事業などへの参加

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(4) 障がい児者施設の作品展示・販売

障がい児者への理解を図ることを目的に、障がい児者施設の作品を総合社会福祉センターロビーに設置している「福祉の店」で展示・販売しました。

【販売数】 ぼかし、固形石鹼、ポーチなど 合計 139点

(5) 福祉団体・ボランティア団体写真展の開催

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(6) 社協だより「幸せな社会」への広告掲載

広告料による自主財源の確保に努めました。

【広告掲載実績】 掲載事業者数 7社 広告料 115,000円